

経営体制の強化

● 日本調剤グループ内での位置づけの変更

これまでグループ内で兄弟会社であった日本ジェネリック株式会社の100%出資子会社に変更し、同社との一体化を進め、直接的な指導・支援を受け入れられる体制を整備します

● 経営陣の刷新（新任役員は◎）

長生堂製薬での役職	氏名	日本調剤グループ内での役職
代表取締役会長	三津原庸介	日本調剤(株) 代表取締役社長
◎ 代表取締役社長、取締役（管理担当）	小城和紀	日本調剤(株) 取締役（経理・財務・システム担当）
◎ 取締役（製造担当）	麻生令二	旧 日本ジェネリック(株) 生産管理部長
◎ 取締役（信頼性保証担当、品質管理統括担当）	三井隆志	日本ジェネリック(株) 品質保証部長
取締役（技術統括担当）	中内紀文	旧 当社 取締役（開発部門担当）
非常勤取締役	井上祐弘	日本ジェネリック(株) 常務取締役
◎ 非常勤取締役	野中宏美	日本ジェネリック(株) 取締役（生産部門担当）
監査役	畠山信之	日本調剤(株) 取締役

なお、代表取締役社長原田秀昭及び4名の取締役（後藤田修、溝渕浩二、佐古誠一郎、河田孝則）は退任

信頼回復へ向けての全社の取り組み

● 企業風土の醸成

- 経営陣による品質方針・コンプライアンス重視のメッセージ発信（品質・規範を尊重する風土）
- 全社員の教育訓練を充実（研鑽を奨励する風土）
- 人事ローテーション等を通じた部門間の連携強化と相互理解の徹底（風通しの良い風土）
- GQPによる無通告監査と定期的な整合性点検を実施
- 従業員にとって実効性のある内部通報制度の整備

製造販売業者における再発防止策

- 三役体制の刷新及び責務と業務範囲の明確化

製造業者における再発防止策

- 責任者の責務と業務範囲の明確化
- 生産品目の最適化及び生産計画の適正化
- 製剤開発及び工業化検討を行う体制の整備
- 品質課題の解消に向けた継続的検討を行う体制の整備
- QA・QCの独立性確保及び役割の明確化
- システム面の導入・強化、機器の整備